様式３(2020.08改)

作成日　令和 4 年 3 月 7 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601150
事業所名	グループホームファミリア植田

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	法人の理事が町内会に加入し、町内会の会議にも出席している。ホームに関係のある情報は報告があり、回覧版も回ってくる。本年度はコロナ禍のため、地域行事は中止となり、運営推進会議への出席もなく地域との繋がりは例年に比べ希薄になっている。入居者が、ホーム内だけの生活にならないように、ウイズコロナを想定しながら、地域とつながっていく方法を模索している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	入居者や家族、民生委員、包括支援センター職員、事業所職員が参加して、2か月に1回開催していたが、コロナ禍の為外部からの参加はなく、職員と入居者、年1回包括支援センター職員が出席し、書面開催をしている。電話やアンケートで寄せられた家族からの意見は話し合い、運営やサービス向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍の為、業務上必要な時は担当窓口を訪れているが、ほとんどは電話やメール、封書でのやり取りとなっている。研修会の参加もなく、以前に比べて関係性が希薄になっていると感じている。今後はもっと連携を密に取りながら運営に取り組んでいくよう努めていく。	○
重点項目④	連携を密にして運営に取り組める湯努めている。	
	入居者からは日々のケアの中で、会話や行動から思いや意向を聞き記録してケアにつなげている。家族からは、コロナ禍で面会の規制や行事の中止などがあり、コミュニケーションが取り難くなっているが、電話やアンケートなどで意見を求め運営やケアに活かすようにしている。毎月発行の「ふぁみりあだより」は家族に安心を届けている。ご意見箱を設置している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

2年近くコロナ禍の為、地域との交流や外出、面会等が規制されている。ウイズコロナの社会情勢となり、今までの生活が戻ってくるには時間がかかる。地域との繋がりや運営推進会議、市町村との連携等は職員や法人、関係機関などと話し合い少しづつでも前に進めていく事が期待される。コロナ感染対策に留意しながら運営に努めている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									